

令和3年度 学校評価報告書

令和4年3月24日

北海道教育委員会教育長 様

北海道北広島西高等学校長 佐 賀 聡 ㊟

次のとおり令和3年度学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 「学び直し」と「キャリア教育」を軸に、学ぶことの意義や生涯にわたって学び続けることの大切さを理解させ、主体的に学習する意欲と態度を育てる。
 (2) 教育活動全般を通じて、規範意識の向上と自主性・自律性の育成を図り、多様な価値観を持った人々と協働できる力を育てる。
 (3) 地域の教育資源の積極的な活用などにより、社会とのつながりの中で自己有用感や自己肯定感を高めさせる教育活動の充実を図る。
 (4) 全ての教職員が専門性を高めるための研修の時間等を確保し、効果的な教育活動が実施できるよう、働き方改革を推進する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善の方策

| 評価項目 | 自己評価の結果 | 学校関係者評価の結果 |
|------------|---|---|
| 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> ○基礎力診断テストの結果をベーシック・スタディで活用し、基礎力診断テストの徹底的な復習に努めた。 ○「観点別評価」等テーマを定めた公開授業における授業の互見等を通じて、授業改善の取組に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○今後も、「学び直し(ベーシックスタディ)の充実」と「目的を明確にした授業改善」に取り組んでもらいたい。 |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> ○学校設定教科「ベーシック・スタディ」の目的を教職員が明確に共有し、学力診断テストの結果等目に見える形で反映できるよう充実を図る。 ○教員間の日常的な授業互見を促進し、双方向的視点での授業改善に向けた取組の推進を図る。 | |
| 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> ○HRリーダー中心の活動機会を増やし、授業規律や感染症対策の徹底に努めた。 ○いじめを積極的に認知し、重大事案になる前に組織的に対応するよう努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「基本的生活習慣の確立」や「新型コロナウイルス感染拡大防止」また「いじめの未然防止」等に向けて、引き続き、生徒主体による取組の充実を図ってもらいたい。 |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> ○クラス・リーダー会議等を主体とした、生徒提案型の授業規律の確立を図る。 ○生徒会主体による、生徒提案型の「いじめ」や「ネットトラブル」の未然防止策の確立を図る。 | |
| 進路指導 | <ul style="list-style-type: none"> ○企業講話、キャリア講話等、外部人材の効果的な活用により、発達段階に応じたキャリア教育の充実を努めた。 ○全教員による面接指導等、進路学習・進路行事を全体の協力を得て実施するよう努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍で制約はあると思うが、ICT活用等で工夫し、大学進学を含む全ての生徒の進路希望実現を図ってもらいたい。 |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> ○進路実現に主体的に取り組む生徒を育成し、オンラインによる進路探究活動やポートフォリオを活用したキャリア教育の充実を図る。 ○大学進学希望者を含む全ての生徒の進路希望に対応できる指導体制の充実と、諸調査の分析により指導の改善・充実を図る。 | |
| 地域や保護者との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染拡大防止に係る学校の新しい生活様式に則った計画調整を行い、さまざまな状況に対応した活動の実施に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○地域行事の参加やPTA活動等、コロナ禍で出来ないではなく、その中でも出来る方法を模索し、活動を充実させ、生徒の成長を促してもらいたい。 |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> ○メールによる「発信」や「受信」(欠席連絡・健康調査等)も定着しており、今後は、オンライン会議等、ICTを活用した保護者との情報共有・連携を図る。○コロナ禍でも、地域の行事やボランティア活動へ積極的に参加・協力できる方法を検討し、その実践を図る。(オンラインでの交流等) | |
| 学校運営 | <ul style="list-style-type: none"> ○委員会を中心に、「スクールミッション」「スクールポリシー」を明確にし、全職員で共通理解を図った。これをもとに、教職員一人ひとりが自身の業務と生活を見直し、本校教育の質の向上に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○子どもたち一人一人の学びを支える教育の充実に向けて、「スクールミッション」「スクールポリシー」の生徒・保護者等への周知徹底と「働き方改革の推進」に取り組んでもらいたい。 |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> ○昨年度「目指す生徒像を考える委員会」を立ち上げ、今年度本校の「スクールミッション」「スクールポリシー」を完成させた。今後、委員会からの提言を受けて、分掌・学年が主体となり、「スクールミッション」「スクールポリシー」の具現化を図る。 | |
| 公表方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校HPへの掲載 ・一斉メール配信等での周知 ・PTA会議での資料説明 | |

3 添付資料

- (1) 自己評価書 (2) 学校関係者評価書 (3) 保護者アンケート結果